

病児保育室だより わかば 第 12 号

冬の事故

乳幼児の事故で多いのが誤嚥ですが、中でも問題になるのが豆類です。家庭ではピーナツによる誤嚥が多く、乳幼児検診でも「3歳まではピーナツはあげないこと」と注意を促しています。保育園でも節分の豆の扱いに、毎年苦慮しています。

その他、冬に起きやすいやけどは、特に子供の発達に応じた対策が重要です。

豆まき時の事故

◆ 誤嚥

家庭での豆まきは、大豆で行うことが多いと思いますが、お掃除の簡単さから最近では、殻つき落花生（ピーナツ）で行う家庭も増えてきました。0～4歳の気道異物の上位は、ほぼピーナツ・豆類が占めています。子供が急に咳き込んだり、ゼーゼーした場合は要注意です。

ピーナツは、4、5歳くらいの子供の気管の直径とほぼ同じなので、間違っただけで吸い込むと声帯に引っかかると窒息するという事故を起こします。引っかかっても、ふやけて窒息につながったり、小さなかけらが気管に入ってしまうと、治りにくい肺炎や喘息を起こすこともあります。

◆ アレルギー

ピーナツにアレルギーのある子供が増えています。殻つきのピーナツを投げると殻の粉が飛び散ったり、まいた殻つきピーナツを踏みつけることで粉が飛び散ります。殻をつかんだ手で目をこすり結膜（目の白いところ）が腫れたり、粉を吸い込んでアレルギー性鼻炎や喘息を起こす危険性もあります。食べて蕁麻疹やアナフィラキシーを起こしたり、豆まきの翌日床に落ちた殻の粉で症状を起こす例もありますので、豆の取り扱いには注意が必要です。

◎アナフィラキシー：アレルギー症状が一つにとどまらず、皮膚、呼吸器、消化器循環器、神経など複数の臓器に急激に強く現れる場合を言います。意識がもうろうとしてきたなどのショック症状が出たら、直ぐに救急車を呼びましょう。



わかば病児室

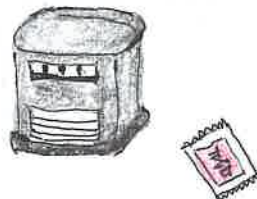
看護師

H 31年 2月 1日

やけど

どんなやけども直ちに冷やす!

暖房器具（ストーブ、ファンヒーター）調理器具（炊飯器、ポット）が、子供の手の届くところにありませんか？。冬は、やけどを起こしやすい状況が多くなります。調理器具などは、子どもが「おままごと」での興味のある対象で、触ってしまうので注意しましょう。



最近では低温やけど（ホットカーペットや使い捨てカイロに、長時間触れることで起きる）も増えています。熱い食べ物（お茶、鍋）や、家庭用のグリルに触れて、手のひらのやけども多く見られます。ポット等のコンセントも、手が届くところにあると引っ張りやすく危険です。言葉による理解ができない年齢（0～3歳頃）では、ベビーゲートなどの柵の利用もよいでしょう。

東社協保育士会保健部会/編 参照

先月の病児保育利用数と疾患

12月26日～1月25日
利用数 4名

疾患、熱、頭痛、嘔吐、下痢、腹痛、脱水症

誤ってやけどをしてしまったら、落ち着いて対処しましょう。すぐに水道水で最低でも15～30分は冷やします。乳幼児は冷やしすぎると低体温になることも。寒がったり、震えたりしたら体の保温をしましょう。発赤部位が広い（大人の手のひらくらい）水疱があるときは、受診しましょう。水疱はつぶすと細菌感染をおこすこともあるので、自然に吸収されるまで、つぶさないにします。

□どこをやけどしたか

□どのくらいの体表面積か

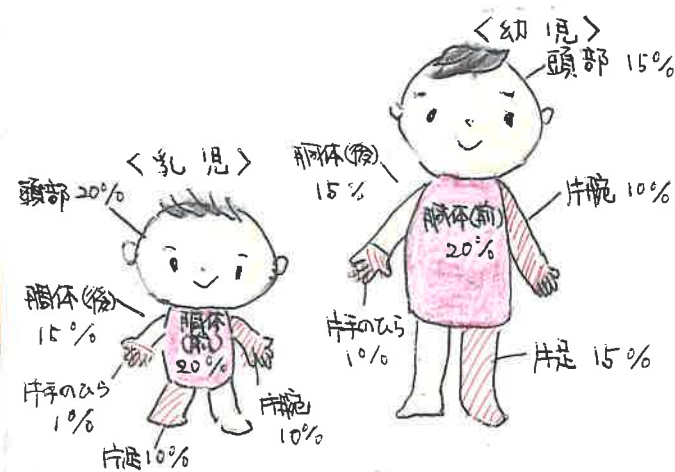
□体表面積の10%を超えているか

（乳児は10%以上のやけどは命にかかわります）

□皮膚の状態は？

頭、顔、肛門、性器周辺のやけど、皮膚が焼けて黒くなっている、皮膚が青白くなっている…**急いで救急車を**水ぶくれ、皮膚がグチャグチャ、患部に皮膚がくっついて取れない、関節（動きやすいところ）をやけどした、足首から下、また手首から先のほとんどをやけどした…**病院へ**

体表面積の目安



子どもの病気・けが・救急&ケア BOOK 世界文化社 参照